

第8回 圧力容器規格委員会 議事録

・日時：平成21年1月22日（木） 14：00～17：00

・場所：高圧ガス保安協会 第2，3会議室

・出席者（順不同、敬称略）

委員長：小林

副委員長：辻

委員：鴻巣、寺田、山本、青山、後藤、佐藤、田原、酒井、能登、矢野、阿部、
多田、荒川

アソシエート：笹井

K H K：鈴木（好）、磯村、太田、村岡、安東、小山田、細川、加藤

・議題：

- (1) 委員長互選・副委員長の指名
- (2) アソシエートの登録について
- (3) 前回議事録確認
- (4) 技術基準整備計画（案）について
- (5) ASME 投票案件の報告
- (6) 技術委員・規格委員専用サイトについて（Web投票システム）
- (7) 技術基準策定手順書の改正について
- (8) 超高压ガス設備に関する基準（案）の改正について
- (9) KHKS 0223 第一種特定設備の技術基準の検討
- (10) 設計係数 2.4 の技術文書の検討
- (11) その他

・配布資料：

- 8 資料 1 圧力容器規格委員会委員名簿
- 8 資料 2 第7回圧力容器規格委員会 議事録（案）
- 8 資料 3 技術基準整備計画（案）
- 8 資料 4 - 1 ASME 投票案件
- 8 資料 4 - 2 ASME 審議手順の変更について
- 8 資料 5 書面投票に係る Web システムの導入について
- 8 資料 6 技術基準策定手順書の改正について（新旧対照表を含む。）
- 8 資料 7 技術基準策定手順書（案）
- 8 資料 8 超高压基準改正の概要
- 8 資料 8 - 1 両案の比較検討
- 8 資料 8 - 2 疲労評価における平均応力補正手法に関する両案比較検討に関する見解
- 8 資料 8 - 3 附属書（3.1の抜粋）
- 8 資料 9 KHKS0220 超高压ガス設備に関する基準（改正案）

- 8 資料 1 0 KHKS への取り込み事項一覧
- 8 資料 1 1 設計裕度 4.0 の KHKS の作成要領について（7 資料 3 の改訂版）
- 8 資料 1 2 KHKS0220 第一種特定設備の技術基準（案）
- 8 資料 1 3 継目なし円筒容器の鏡部の最小厚さの算定について
- 8 資料 1 4 パッドフランジの強度評価について
- 8 資料 1 5 リバースフランジの計算について
- 8 資料 1 6 KHKTD 52** 設計係数 2.4 の特定設備における技術基準（技術文書）

・ 議事概要

1．議題（1）委員長互選・副委員長の指名

委員長に小林委員が互選された。副委員長に辻委員が指名された。

2．議題（2）アソシエートの登録について

トーヨーカネツの笹井氏よりアソシエート登録希望の理由説明があり、出席委員全員の賛成により、アソシエートとして登録することとなった。

3．議題（3）前回議事録確認

8 資料 2 の議事録（案）の確認を行い、出席委員全員の賛成により可決された。

4．議題（4）技術基準整備計画（案）について

技術基準整備計画（案）について説明があり、出席委員全員の賛成により可決された。
なお、次の意見交換があった。

現在検討中の KHKTD は DBR である。ASME 規格は DBA を含んでいるので、KHKTD にも DBA を付加してはどうか。

現状の特定則では、設計係数 2.4 と解析設計のいずれも基準化されていない。設計係数 2.4 が認められた後に DBA の必要性を検討してはどうか。

DBA は、設計係数とあまり関係なく、計算手法確立の問題と考える。

日本では JIS の方が ASME の規格体系を取り込む形になっており、まず JIS の整備を検討すべきではないか。

5．議題（5）ASME投票案件の報告

（1）ASME 投票案件の投票結果について報告を行った。（8 資料 4-1）

（2）ASME の委員会組織変更に伴う Delegate 投票手続きの変更について説明を行った。（8 資料 4-2）

6．議題（6）技術委員・規格委員専用サイトについて（Web投票システム）

Web 投票システムについて説明を行った。（8 資料 5）

7．議題（7）技術基準策定手順書の改正について

Web 投票システムの導入等に伴う技術基準策定手順書の改正について説明を行った。（8 資料 6）出席委員全員の賛成により可決された。今後の書面投票等は、従来の方法か Web

投票のいずれかで行うこととなった。

8．議題（8）超高压ガス設備に関する基準（案）の改正について

- （1）基準（案）の改正点について説明があった。（8資料8）
- （2）寺田委員より、基準（案）の疲労評価における平均応力補正方法に対する修正提案がされた。（8資料8-1～-3）
- （3）各委員は2月10日（火）迄にコメントを事務局へ提出する。コメントに対応した最終案を3月上旬頃に各委員に送付し、書面投票を実施することとなった。
- （4）出席委員全員の賛成により、書面投票の期間は15日間、可決後のパブリックコメントの期間は1ヶ月に可決された。

9．議題（9）KHKS 0223 第一種特定設備の技術基準の検討

KHKS 0223（案）について、以下の説明及び意見交換があった。

- （1）第7回委員会において確認された作成要領に基づき作成された KHKS 案が提示された。
- （2）8資料11の3.1)の内容を8資料10～12で確認することとなった。（許容応力表、外圧曲線等は、8資料12に全ページ添付していないが、実際は添付される。）
- （3）8資料11の3.2)の個別審議事項について、8資料13～15に基づき説明された。
- （4）KHKSの見直しは定期的に行われるのか。
 検査で使用されることを想定しているので、検査での質疑に応じて適宜見直しを行う予定。
- （5）解説は無いのか。 解説は添付する。（書面投票の対象外）
- （6）各委員は、2月27日（金）迄にコメントを事務局へ提出する。コメントに対応した修正案を次回委員会で最終審議（予定）する。

10．議題（10）設計係数2.4の技術文書の検討

KHKTD（案）について、以下の説明及び意見交換があった。

- （1）高温強度の規定の取り入れ及びクリープと非クリープの領域区分に対する HPI の材料部会の考え方について説明があった。（8資料16のP.149）HPIの検討結果を待つこととなった。
- （2）JIS B 8266 附属書10の内容がDiv.2の内容と整合性については、Div.2でもSec. Part DのAppendix5を引用しているので、基本的に同じと理解している。
- （3）Rigidityは、8資料16に反映していないので、修正版で反映させる。
- （4）局部加熱の加熱幅の説明図は、JIS B 8267の図を使用する。
- （5）鍛造リング溶接容器は、今回対象外とする。
- （6）解説は添付される。（投票の対象外）
- （7）各委員は、2月27日（金）迄にコメントを事務局へ提出する。コメントに対応した修正案を次回委員会で最終審議（予定）する。

10．その他

次回委員会の日程は、後日調整することとなった。

以上